

志成

【本校の概要】

本校は普通科高校として昭和58年に開校し、進学に実績を上げてきました。JR河瀬駅から徒歩7分という交通の便の良い場所にあります。また、平成15年に河瀬中学校を併設し、今年3月、中高一貫校13期生が高校を卒業しました。

本校の校訓である『志成』の言葉どおり、生徒が希望する進路を実現できる確かな学力とたくましさを育てる『魅力と活力ある進学校』として、未来社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

【目指す生徒像】

視野を地域から世界へ広げ、何事に対しても意欲を持って取り組める心豊かな生徒

2022年 高等学校 創立40周年 中学校 創立20周年



滋賀県立河瀬高等学校

Shiga Prefectural Kawase Senior High School

2022年度 学校案内



学 習

日々の学習の中で『学ぶ力』を身につけていく。

充実した学習指導

本校生のほとんどが進学を希望しています。その希望がかなえられるように基礎・基本を大切にしながら、発展的な内容の学習に力を入れています。

- ▶ 週32時間授業により授業時間の確保
- ▶ 少人数や習熟度別の授業編成を実施して丁寧に指導
- ▶ 課題考査で自然に学習習慣と基礎力が定着
- ▶ 進学補習（平日放課後3年生対象）で発展的学習
- ▶ 落ち着いた雰囲気で一日をスタートできる朝読書
- ▶ 公開授業や授業評価による教員の授業力向上

教育課程

- ◇ 1年生は芸術以外全員が同じ科目を学びます。
- ◇ 2・3年生はL系（文系）コース、S系（理系）コースのどちらかを選択します。

	1年	2年		3年		
	全員	L系(文系)	S系(理系)	L系1 (文系)	L系2 (文系)	S系(理系)
1	現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語
2						
3	言語文化	文学国語	古典探究	文学国語	文学国語	古典探究
4						
5	公共	古典探究	地理総合	古典探究	古典探究	地理探究
6						
7	数学Ⅰ	地理総合	歴史総合	日本史探究 or 世界史探究 or 地理探究	日本史探究 or 世界史探究 or 地理探究	数学Ⅲ
8						
9	数学Ⅱ	歴史総合	数学Ⅱ	日演 or 世演 or 地理演	日演 or 世演 or 地理演	数学C
10						
11	数学A	数学Ⅱ	数学Ⅲ	政治経済	政治経済	数学演習S
12						
13	化学基礎	数学B	物理基礎	総合 数学	総合 数学	化学
14						
15	生物基礎	数学B	物理基礎	数学 演習Ⅰ	総合 数学	化学演習
16						
17	体育	地学基礎	物理 or 生物	英語演習	英語演習	物理 or 生物
18						
19	保健	化学	化学基礎演習 or 地学基礎演習	英語演習	英語演習	物理 or 生物
20						
21	芸術Ⅰ	体育	生物基礎 演習	生物基礎 演習	物理演習 or 生物演習	物理演習 or 生物演習
22						
23	英語 コミュニケーションⅠ	英語 コミュニケーションⅡ	英語 コミュニケーションⅡ	英語 コミュニケーションⅢ	英語 コミュニケーションⅢ	英語 コミュニケーションⅢ
24						
25	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ	体育	体育	体育
26						
27	情報Ⅰ	家庭基礎	家庭基礎	論理・ 表現Ⅲ	論理・ 表現Ⅲ	論理・表現Ⅲ
28						
29	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR
30						
31	総合的な探究	総合的な探究	総合的な探究	総合的な 探究	総合的な 探究	総合的な探究*
32						
33						

※令和3年度4月時点での予定です。

※3年生の総合的な探究の時間は通常の日課では行いませんが、特別の日課で集中して実施します。



私の受験勉強

滋賀県立大学
工学部 機械システム工学科
友田 優成
(彦根市立南中学校卒)

私は2年生の終わり頃までは大学について調べることはしていませんでした。しかし、休校期間による授業進度の遅れや受験の日が近づいていることに不安を感じ、春から受験勉強を始めました。最初は長時間の勉強が苦痛で、日によって勉強時間に波がありました。そこで教科ごとに勉強する時間帯を固定し、安定した勉強時間の確保と習慣化ができました。

夏季休業中は補習を活用し、学校で勉強するようにしました。頑張っている友人の姿も見られ、お互いに刺激を受けながら勉強に励むことが出来ました。

しかし、冬の最後の模試まで志望校の判定が上がらず、周りの学力の伸びと自分との差を感じて落ち込むことがありました。焦りや不安が増えていく中でも最後まで伸びると信じて勉強し続けたことが合格に繋がったと思います。



私の大学受験

岡山大学
教育学部 学校教育教員養成課程
上野 佑介
(県立河瀬中学校卒)

私は、第一志望の岡山大学教育学部に合格することができました。合格の決め手となったのは、河瀬高等学校の雰囲気づくりにあると思います。河瀬高等学校の先生方は、昼食休憩の時間や、授業ごとの休憩時間、放課後などの自由時間にいつでも生徒の質問に真摯に答えてくださいます。また、進路や受験のことで不安になった時などには、すぐに面談をすることによって不安を解消してくださいます。そのような先生方の生徒に寄り添う姿勢を見て、思うような結果が出ずに掛けそうになっていた私は、モチベーションを取り戻し掛けすることなく受験を終えることができました。河瀬高等学校の先生と生徒が一丸となって受験に挑もうとする雰囲気はとても活気に溢れていて、何度も私の背中を押してくれました。受験勉強をされていて辛い時や苦しい時が何度もあると思いますが、そのような時こそ視野を広く持って、一人で悩まずに共に受験に挑む友人や先生方と切磋琢磨し、自分の理想の進路を実現してください。一卒業生として応援しています。

ICT 機器を導入した先進的な学習

本校では、ICT 機器等を活用した教育を推進するため、2017 年にすべての普通教室と一部の特別教室に電子黒板機能付きプロジェクターとスクリーン、書画カメラを設置しました。これにより、視覚的な教材提示が行えるようになりました。動画や資料を見やすく提示することで、興味・関心を高めたり、フラッシュカードやワークシートをスクリーンに映し出して、学習の支援に役立てたりしています。また、タブレット端末などを活用して、探究型の学習活動やプレゼンテーションを行ったり、意見や考えを交流する活動にも取り組んだりしています。



受験に向けて



河瀬高等学校3年生
古川 涼士
(彦根市立南中学校卒)

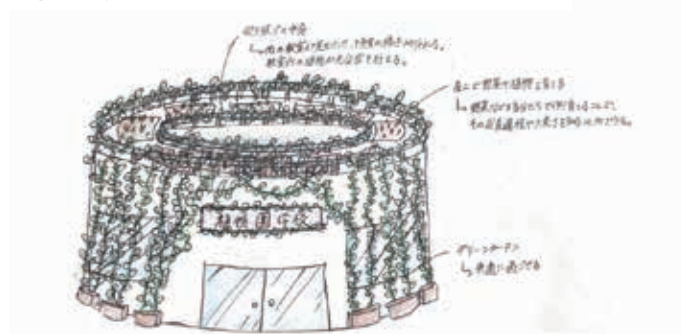
私が受験に向けて心がけていることは、「計画を立てること」と「毎日コツコツ勉強をすること」です。受験勉強をしていくにあたって、やらなければならないことがたくさんあります。そんな時にきちんと計画を立てることによって今すべきことがはっきりと分かります。そしてその計画通りに勉強を進めるには毎日の勉強が必要です。部活動があって平日はなかなか勉強時間が取れませんが、少ない時間でできることを考え、勉強するようにしています。これからも毎日コツコツと勉強して進路実現に向けて頑張っていきたいと思います。

Education for Sustainable Development (持続可能な発展のための教育)

SDGs は 2015 年 9 月の国連のサミットで決定された国際社会共通の目標です。本校では学びに SDGs の要素を取り入れています。一見、高校生とは関係ないように感じられる SDGs 自体を学ぶというよりは、自らの "興味・関心" や "好き" を SDGs という窓を通してみることで、それらが "学問" に繋がっており、さらに "自分自身が世界の課題を解決し得るかもしれない" ということを実感し個に応じたキャリア感を育成することを目指しています。

例えばアクションアイデアを探求したり、身近な新聞を用いて SDGs の要素を感じ取ったりしています。世界一国一県一市町村といった異なる舞台で、政治・法律・経済・経営・文学・芸術・農業・工業・情報・ファッション... といった異なる演目を上演していく皆さんを繋ぐ共通言語が SDGs であると捉えています。

生徒が考えた「SDGsアクション」アイデア



国際理解教育

本校では、次世代の国際社会で活躍できるグローバル人材育成を目指し、オーストラリアへの海外短期派遣研修を実施しています。現地の高校との国際交流や異文化理解体験、語学・文化研修などを通じて、国際感覚を磨き、視野を広げる取り組みを行っています。

また、ミシガン州立大学連合日本センターの留学生をインターンとして受け入れ、留学生がどのように日本語を学んでいるのか体験したり、日本語や日本の若者の文化を紹介したりして、国際交流の機会としています。

※2020、2021年は新型コロナウイルス対策のため海外派遣は実施していません。



海外派遣に参加して



河瀬高等学校3年生
清水 佳裕
(彦根市立南中学校卒)

僕は高校一年次の夏、海外派遣に参加しました。どこへ行っても英語しか通じない環境に身を置くことは想像とは全く異なり、僕にはそれがとても新鮮に感じました。ホームステイでも現地の学校でも買い物でも、どこへ行っても英語です。拙いながらも懸命に伝えようとしていると、現地の方が頑張ってくれようとしていたのがとても印象に残っています。このとき僕は、自分の英語力がまだまだ足りていないということを実感しました。またこのとき、「来年はもっと上手く会話できるように勉強しよう」と思い、海外での体験は帰国後の英語の学習のきっかけになりました。「ただ海外に行ってみたい」という思いで参加した海外派遣は、以降の僕の学習に大きな影響をもたらしました。このように自分を大きく変えてくれる河瀬高校に進学することができて本当によかったです。

講演会

2019 年度講演会 外務省「高校講座」

2019 年9月11日(水)の6・7時間目に、外務省の職員の方による「高校講座」を開催しました。国連企画調査課の寺田佳世様をお招きし、「グローバルに活躍する人を目指す」というタイトルで講演をして頂きました。

2020 年度講演会 「EUが学校にやってくる」—欧州連合(EU) 外交官による出前講座—

2020 年11月10日(火)、高校1・2年生を対象に、スウェーデン大使館公使参事官のレーナ・フォン・シドーさんをお迎えして講演会を行いました。この事業は、日本の高校生にEUに関心を持ってもらうことを目的としてEUの駐日代表部が主催したものです。



ESS の活動

E.S.S. 部では、“Nothing ventured, nothing gained.”(虎穴に入らずんば虎子を得ず)をモットーに、英語力の向上、そして英語を使う楽しさを追求するために、以下のような活動に取り組んでいます。

発音練習、英会話練習、ALT や JCMU(ミシガン州立大学センターの留学生)との交流体験、スピーチ・暗唱コンテストや英語ディベート大会のための準備・練習・大会出場 など



修学旅行

北海道を訪問することにより、次の4つの観点から学習を深めます。

- ①SDGsと探究学習を深める。(SDGsコース別研修)
(札幌、ニセコ町のSDGs未来都市訪問など各自の課題に取り組む)
- ②異文化体験学習に取り組む。(アイヌ文化を知る)
(ウポポイ(国立アイヌ博物館)を訪問し学習を深める。)
- ③国際交流、国際理解に取り組む。(Global Villageプログラム)
(札幌において留学生との国際交流を通して国際理解を深める。)
- ④北海道を体感する。(自然体験学習)
(ルスツにて様々な自然体験学習により雄大な北海道を体感する)

豊かな自然や異文化に触れたり、留学生と交流したりすることにより、見聞を深めることができます。



上の写真は訪問予定地等のイメージ写真です。
なお、2019年度は香港の情勢悪化から沖縄に変更、2020年度は新型コロナウイルス対策のため修学旅行を中止しています。

福島研修

2020年11月21日から2泊3日の行程で希望生徒15人とともに福島研修を実施しました。東日本大震災・原子力災害伝承館をはじめ、一部帰還困難区域である国道6号を通過しながら、請戸小学校・JR双葉駅周辺・富岡町でのフィールドワークを行い、東電社員や現在復興に尽力されている方々との対話の機会も多く、充実した行程になりました。

東日本大震災発生時には小学2年生だった生徒達は研修前に事前学習を行い、それぞれのテーマを持って参加しましたが、現地での生徒の取材力・質問力には目を瞠るものがありました。複雑で困難な状況乗り越えて希望を語る方々の言葉の力の奥深さ・豊かさ・強さを、生徒達が体感した旅でした。今年度も希望者を募り実施する予定です。



福島研修

河瀬高等学校3年生
上川 実佑
(県立河瀬中学校卒)

私は昨秋行われた福島研修に参加しました。実際に東日本大震災の被災地である福島県に行き、地元の方や東京電力の方からお話を伺ったり、伝承館や津波の被害を受けた街に行ったりなど様々な体験をすることができました。その中で、地域の人との繋がりの大切さや、日頃から災害時どのような行動をとればよいかを予測することの重要性を学びました。また、班のメンバーと疑問点や課題について話し合うなかで、自分とは違った視点からの意見を聞くことができ、物事を多角的に捉えることの重要性に気づかされました。この福島研修のなかで私が最も印象に残っていることは福島県の方々の復興に向けて活動されている姿です。目の前にある課題に向き合い、未来に向けて活動されていることを知り感銘を受けました。充実した3日間だったと思います。

学校行事

中高合同の学園祭。仲間と創る、充実した高校生活。

年間行事(主な学校行事)

4月	始業式、入学式、宿題考査、離任式、除草、校外学習(2、3年)、オリエンテーション(1年)、生徒総会
5月	避難訓練、中間考査、PTA総会、コース選択説明会(1、2年生)
6月	春季総体、学園祭準備、学園祭(体育祭、文化祭)
7月	期末考査、油ぶき、終業式、保護者懇談会、進学補習(～2月)、学力補充講座
8月	始業式
9月	避難訓練、生徒会長選挙
10月	中間考査、秋季高校総体、県高校総合文化祭、人権映画鑑賞、除草
11月	ボランティア花植、修学旅行(2年)、教育の日講演会
12月	期末考査、保護者懇談会、終業式、学力補充講座
1月	始業式、宿題考査
2月	「総合的な探究の時間」発表会、学年末考査
3月	卒業式、身体測定、球技大会、終業式

人権 LHR (年4回)、朝読書 (年4回)、個人面談 (年4～6回)
校外模試 (1年3回、2年4回、3年7回)



オリエンテーション

「自学自習」の習慣をつけるため、まず長時間机に向かうところから始めます。また、卒業生の話や講演を聞くことで、これから先の高校生活をどう過ごすかを具体的にイメージし、主体的に学生生活を過ごすきっかけを作ります。



校外学習

生徒の自立と自律を目指し、生徒自身が行き先を決めて、行動計画を立て、実行するという班別自主研修を行います。一昨年度は、2年生は名古屋へ、3年生は大阪で研修後、劇団四季の公演を鑑賞しました。



(昨年度は新型コロナウイルス対策のため中止しています。)



学園祭（体育祭・文化祭）

本校の『荒人漕』と呼ばれる学園祭（体育祭・文化祭）は、中高合同で行います。中学1年生から高校3年生までの6学年が一致団結して、学園祭を盛り上げます。



仲間



河瀬高等学校3年生
北川 潤
(県立河瀬中学校卒)

河瀬高校には様々な行事があり、その中でも最も盛り上がるのは「荒人漕」と呼ばれる学園祭です。

私は中学入試を経て河瀬中学校に入学し、現在は河瀬高等学校に在籍しています。私が河瀬中学校に入学したてのころは緊張もあり、友達ができるのか不安に思う日もありました。準備期間中はクラスの人々と、どうすれば出し物がより良くなるのか何度も話し合いました。はじめは上手く話がまとまりませんでしたが、繰り返し話し合ううちにだんだんとクラスがまとまっていきました。そうして迎えた本番では自分たちの思い描いていた以上のパフォーマンスを発揮することができ、その時には既に入学当初にあった不安も消えていました。

入学したてのころは誰もが不安を抱えています。しかし、学園祭を通じてたくさんの仲間を作ることが出来ると思います。みなさんも是非、この河瀬中学・高校での学園祭をお楽しみください。

団結と交流



立命館大学
食マネジメント学部 食マネジメント学科
池尻 和佳
(多賀町立多賀中学校卒)

私が一番高校生活で思い出に残っていることは荒人漕です。私たちが3年生の時はコロナ禍で実施できなかったのですが、1,2年生の時は学年を超えて先輩方と関われるとても楽しい機会でした。普段部活の先輩しか関わることのなかった私でもたくさんの先輩と話をさせていただきました。荒人漕の種目の中で特に集団演技が楽しかったです。放課後は集まりなどで団結していきました。集団演技は学年関係なく取り組むので団での一体感があり、本番が成功したときはとても達成感がありました。また、あまり話したことなかったクラスメイトの人とも仲良くなり楽しかったです。この行事を通して様々な交流ができ、多くの経験ができました。ぜひいい機会だと思うのでたくさんの人と話して楽しい思い出をつくってください。

部活動

日々、仲間とともに心と体を鍛える。部活動で得た力と感動は、一生の宝物。

河瀬高校の部活動(2021年現在)

〔運動部〕(※は中高合同)

陸上競技※ 卓球 剣道※ 硬式野球 サッカー
バドミントン ソフトテニス ハンドボール
バスケットボール 女子バレーボール

〔文化部〕(全て中高合同)

吹奏楽 美術 科学 書道 写真 放送 文芸
茶華道 E.S.S ホームメイキング

主な実績(2020年度)

〈生徒会執行〉

□日本生徒会大賞2020 特別賞(全国表彰)

〈剣道部〉

□滋賀県高等学校秋季総合体育大会 男子団体ベスト8 女子個人戦3位

〈卓球部〉

□滋賀県高等学校夏季大会 女子団体 ベスト8
□第48回全国高等学校選抜卓球大会シングルの部県予選会
男子シングルス第3位

〈科学部〉

□第64回滋賀県学生科学賞県展・高等学校の部
化学班 優秀賞(県3位) 日本学生科学賞(全国大会へ)
生物班 佳作(6位)
□第74回滋賀県児童生徒科学研究発表大会・高等学校の部
□第41回滋賀県高等学校総合文化祭 自然科学部門 秋季大会
生物班 総合5位 科学教育振興委員会会長賞 部門1位
化学班 総合2位 部門1位

(2021年度全国高等学校総合文化祭和歌山大会へ出場)

〈放送部〉

□滋賀県高等学校総合文化祭放送コンテスト アナウンス部門 第4位
□第40回近畿高等学校総合文化祭放送 奈良大会
放送部門 アナウンス小部門 1名

〈書道部〉

□読売高校・一般紙上書道展 三席 1名
□第13回滋賀県読売競書大会 団体賞 金賞 1名

〈吹奏楽部〉

□第49回滋賀県アンサンブルコンテスト
高校の部 金管8重奏 金賞

〈E.S.S部〉

□第36回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト滋賀県大会暗唱部門
最優秀賞1名、優秀賞1名
□第11回岐阜女子大学主催英語手作り絵本コンクール入賞1名
□第13回滋賀県高校生英語ディベート大会
ベストディベーター賞 第5位
□第26回フレンドシップカップ レシテーションコンテスト
経験者部門 優秀賞

〈写真部〉

□第41回滋賀県高等学校総合文化祭写真部門 推薦(第1位) 佳作4名
□2021年全国高等学校総合文化祭和歌山大会へ出場
□第40回近畿高等学校総合文化祭 写真部門 推薦1名 優秀賞1名





継続する力



滋賀大学
教育学部 学校教育学科
山越 一輝
(近江八幡市立八幡東中学校卒)

私は高校から生徒会執行部に所属していて、生徒会長をしていました。生徒会長になってからは部員をまとめることが多くなり、自分が思ったことをうまく伝えられないこともありました。しかし、そのような中でも自分がやらなければならないことをしっかりとやり続けることで、次第に周りが見えるようになり、状況に合った、的確な指示も出せるようになりました。このように継続することで見てくることも多くあるので、何事もすぐにあきらめてはいけないと思います。それに、部活でのこのような経験は受験勉強でも大変役に立ち、根気強く、最後まで勉強し続けることができました。

私は部活動で多くの経験をし、続けることの大切さを知ることができました。これからの新しい進路でも、部活動で得たことを活かして頑張ろうと思います。

得難い経験



河瀬高等学校3年生
河瀬 晴香
(長浜市立西中学校卒)

私は中学生の時に夏のコンクールで見た河瀬高校吹奏楽部に感動して入学を決めました。入部して驚いたことは中学では先生からの指示を受けて行動していましたが、高校では生徒が主体となって部の方針を決め、役割を分担して運営されていたことです。コロナ禍により数々の大会が中止され、技術やモチベーションの維持は並大抵のことではありませんでしたが、私も部長として意見を出し合い、時にはぶつかり合いながらも協力して進めてきました。例年に比べ演奏を聴いていただく機会も少なかったですが、一回一回心を込めて Kawase Winds の音楽を届けられたことは私にとって得難い経験となりました。

私の中での部活動



関西外国語大学
英語国際学部 英語国際学科
澤 彩寧
(県立河瀬中学校卒)

私は河瀬中学・高校の6年間、吹奏楽部に所属しました。特に入試勉強に入るまでの5年間、私の学校生活は部活動中心でまわっており、その中で得たものは私にとってかけがえのないものです。楽しいことよりも、悔しく思うことや苦しく感じてしまうことのほうが多い日々でしたが、仲間とステージで演奏したときの幸せに比べると、たいしたことではありませんでした。部活動での経験は今の私のすべてであり、これからの大学生活でも生きてくると確信しています。

私が部活を6年間やりきれたのはいつも近くにいた仲間の存在が大きいです。仲間の存在は常に私を奮い立たせてくれました。そのおかげで、自分の限界をつくらないように意識を保つことができました。この経験は受験勉強のときにも自分の支えになったように思います。

私に頑張ることの楽しさや達成感を教えてくれた私の吹奏楽生活は、とても有意義なものでした。言葉では言い表せないくらい大切なものです。後輩のみなさんにも、是非この経験をしてほしいと思います。

文武両道を目指して



河瀬高等学校3年生
有元 幸平
(県立河瀬中学校卒)

私は中学の頃から高校にかけて約5年間河瀬の卓球部に所属しています。

高校では近畿大会出場を目標にして部活動に取り組みました。中学と高校で最も違いを感じたことは大学受験に向け勉強も一層励まなければいけないことでした。部活動の様子も和やかだったので勉強と部活動のバランスをどうするか悩んだこともありましたが、しかし、私は高校でも結果にこだわっていきたくらい、部活動に取り組みました。今まで文武両道で頑張ってきたのは部活動の仲間の存在がとても大きいと思います。最近部活動で結果も出せるようになり、充実感も持つこともできています。

苦勞することも多々ありましたが、部活動でしか得られないものもたくさん経験しました。卓球部での日々があったから今の自分があるとさえ思うことができるほど私には大切な時間でした。この経験を今後も大切にして頑張っていこうと思います。

進路指導

未来を見つめ、自分自身を見つめ、そして夢の実現へ



進路指導年間指導計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	進路志望調査 スタディサプリ到達度テスト 適性検査	進路志望調査	進路講演会 進路志望調査 就職・公務員説明会
5 月	進路の手引き配布	進路の手引き配布	第1回就職・公務員模試 進路の手引き配布
6 月			進研マーク模試 保護者進学説明会 第2回就職・公務員模試
7 月	第1回校外学力テスト 保護者懇談会	第1回校外学力テスト 保護者懇談会	求人票受付 1期補習開始 進研記述模試 保護者懇談会 第3回就職・公務員模試 第4回就職・公務員模試
8 月		保護者説明会 GTEC	全統マーク模試
9 月	進路講演会		2期補習開始 大学入学共通テスト出願説明会 就職選考開始 ハネット駿台マーク模試
10 月	進路志望調査 第2回校外学力テスト	進路志望調査 第2回校外学力テスト	面接総合問題ガイダンス ハネット駿台記述模試 全統記述模試 進路志望調査
11 月			学校推薦型選抜 ハネット駿台マーク模試 全統プレ共通テスト
12 月	保護者懇談会	保護者懇談会	3期補習開始 保護者懇談会
1 月	GTEC 第3回校外学力テスト	第3回校外学力テスト	大学入学共通テスト 4期補習開始 国公立大学出願 私大等一般選抜
2 月		第4回校外学力テスト	私大等一般入試 国公立大前期日程試験
3 月	分野別説明会 スタディサプリ到達度テスト	進路講演会 スタディサプリ到達度テスト	私大等一般選抜 公立大中期日程試験 国公立大後期日程試験

面接・小論文指導を随時実施



受験勉強の計画を立てること

名古屋工業大学
工学部 電気・機械工学科
福山 青志
(県立河瀬中学校卒)

僕が受験勉強の時に大切にしていたことは計画を立てて勉強することでした。その日何をするかという直近の計画だけではなく、一週間、そして今月いっぱいですることなど大きなスパンでの計画も立てるのが大切です。

僕は夏休みまでその日に「数学を3時間、英語を...」というような計画をたてて明日のことは明日考えるという大雑把な計画をしていました。そうすると予定が狂うことは少なくなりますが、自分が何をしなくてはいいのかなどを把握できません。模試直前になってできていないことが多く、苦手克服が模試に間に合わなかったり、復習が難しくなったりと、その日暮らしの計画は非効率でした。

夏以降、僕は直近の計画は前日の夜、週・月の計画はお風呂で何をどれくらいのペースですれば模試、受験に間に合うかを考えていました。僕はその結果、効率的に勉強でき、そして目標を達成することができました。

私は、ただがむしやに勉強するのも大切ですが、それ以上に計画的に勉強することが重要だと思います。みなさんも進路実現に向けて頑張ってください。

卒業生の主な合格状況(5年間)

学校名	卒業年度 令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	29年度	28年度
国立大学					
北海道大				1	
北海道教育大旭川			1		
岩手大					1
山形大	1				
筑波大	1				
東京外国語大		1			
東京藝術大		1			
お茶の水女子大		1			
横浜国立大	1	1			
富山大	1			1	
信州大		1	1	1	
福井大	1				
岐阜大		1	1		
静岡大	3			1	
名古屋大	1	1			
名古屋工業大	2			1	
愛知教育大		1			
三重大				1	
滋賀大	4	4	8	6	3
滋賀医科大学			1	1	1
京都大	1			2	
京都工芸繊維大					1
大阪大			1	1	
大阪教育大	1			1	
神戸大		4	1	2	1
岡山大	2	1	1	1	
広島大		3			
鳥取大			1		
島根大			1	2	
山口大			1	1	
香川大	1				
徳島大	1				
高知大	2				
九州大					1
大分大		1			
鹿児島大				1	
国立大 計	23	21	18	24	8
公立大学					
高崎経済大			1		
山梨県立大	1				
埼玉県立大		1			1
首都大東京			1		
神奈川保健福祉大		1			
長岡造形大			1		
新潟県立大			1		
富山県立大				1	1
敦賀市立看護大			1		
福井県立大	1		1		
静岡文化芸術大			1		

愛知県立大		1			
名古屋市立大					1
滋賀県立大	10	11	10	13	14
京都府立大	3				1
京都市立芸術大		1			
福知山公立大				2	
大阪府立大	1		1	1	
神戸市外国語大					1
公立鳥取環境大			1		
島根県立大			1		
尾道市立大		1		1	
福山市立大		1			
広島市立大		1		1	
山口県立大	1				1
市立山口東京理科大	1				
愛媛医療技術大		1			
高知県立大	1		1	1	
公立大 計	19	19	21	20	20
私立大学					
創価大		1			
津田塾大		1			
東海大		1			3
東京農業大		2		3	
東洋大					1
日本大			1	1	1
明治大			2		
明治学院大	1				
立教大		1			
早稲田大			5		
金沢工業大	7	3	3	4	7
岐阜協立大	15	5	1	22	11
岐阜女子大		2	2	1	3
岐阜聖徳学園大	17	2	11	1	6
中京大	4			1	
名城大				4	1
成安造形大	7	3	3	2	2
長浜バイオ大	35	27	7	35	29
聖泉大	8	8	21	9	9
びわこ学院大	7	8	3	3	18
びわこ成蹊スポーツ大	2		4	4	6
びわこリハビリ専門職大	7	7			
大谷大	86	9	27	12	22
京都外国語大	17	9	4	6	6
京都華頂大		1	2	4	9
京都看護大	3	1	6	7	5
京都光華女子大	14	8	13	24	10
京都先端科学大	22	10	8	7	5
京都産業大	38	17	19	39	26
京都女子大	7	1	18	9	8
京都精華大	8	8	2	1	1
京都橘大	104	51	98	79	92
京都ノートルダム女子大	4	11	6	4	2

京都文教大	7	9	2	5	13
京都薬科大	2			1	
同志社大	15	10	7	6	7
同志社女子大	10	3	2	2	7
花園大	13	2	10	4	
佛教大	54	19	29	21	30
立命館大	55	40	17	22	35
龍谷大	98	30	46	50	107
追手門学院大	15	4	3	2	2
大阪学院大	5	4		1	2
大阪経済大	5	4			
大阪経済法科大	5	1		2	2
大阪工業大	1	8	1	2	2
大阪産業大	25	4	7	11	13
大阪体育大	1	7	2	2	2
大阪電気通信大	10	3	3	4	12
大阪薬科大		1			
関西大	6	9	5	2	4
関西外国語大	2	3	2	10	6
近畿大	14	5	3	14	11
摂南大	4	6			1
大和大	7	2		2	
関西学院大		8	1		
神戸学院大	8				
甲南女子大	4				
畿央大	7				2
その他	19	57	79	49	25
私立大学合計	805	436	485	494	566
文部科学省所管外					
水産大学校					2
防衛大学校	1				
文部科学省所管外 計	1	0	0	0	2
私立短期大学					
滋賀短大	7	8	5	10	1
滋賀文教短大	1	1	2		
京都外国語短大	1	4			1
関西外国語大短大部	2	1	2	3	3
その他	1	8	10	20	6
私立短期大 計	12	14	9	33	10
短期大学校					
滋賀職業能力開発短大校		5	1		3
短期大学校 計	0	5	1	0	3
専門学校等					
滋賀県立総合保健	3	2	4	2	5
滋賀県立看護	3	7	9	7	3
大津赤十字看護	3		5		2
草津看護	1	2	8	4	
京都理容美容	1	1	1	1	
京都外語		2	1	1	2
その他	9	14	24	19	10
専門学校等 計	21	14	28	34	22

進路実現に至るまで



京都府立大学
公共政策学部 公共政策学科
池永 侑生
(野洲市立野洲中学校卒)

「受験は団体戦」と河瀬の先生はよくおっしゃいますが、受験を通してそう実感しました。受験勉強は予想以上に過酷で、本気で勉強すれば伸びると思っていたのに、模試では成績を維持するのが精一杯だったり、不安や焦りから面談で泣いてしまったりするほどでした。

でも、私が悩んでいると相談に乗ってくださり、弱音を吐くと優しく叱って励ましてくださる先生方、そして、分からないところを教え合ったりテストで競い合ったりしながらともに成長し、つらい時は頑張ろうと励まし合える友人たちの存在が大きな心の支えとなり、自分で決めた第一志望にこだわり続け、合格することができました。

受験を終えて高校生活を振り返ると、改めて河瀬に入学してよかったと思います。進学しても多くの人の支えに感謝し、河瀬での経験を忘れず頑張っていきたいと思います。

受験を振り返って



名古屋大学
理学部
成宮 蔵人
(県立河瀬中学校卒)

学校・部活の成績、志望理由、面接の受け答えなどで合否が決まる、一般入試とは異なる入試方式が一昔前から増加しています。私もその方式の受験者でした。

今振り返ってみると、6年間河瀬で得たあらゆる経験がこの受験での合格に大きく寄与したのだと感じます。その中でも重要な経験として、中学で行ったディベート、高校の英語で行ったディスカッションの授業が挙げられます。どちらも人前での議論、意見の発表が主な内容で、繰り返すごとにプレゼン力や緊張に対する耐性が身に付きました。これらの力が、部活の成績、面接に役立ったのはもちろん、この体験そのものが大学に対するアピールポイントとして強みになりました。

今回紹介できたのはあくまで一例ですが、他にも数々の体験がありました。私が皆さんにお伝えしたかったのは、河瀬にはそうした貴重な体験をすることができ、環境が用意されている、ということです。

令和3年度 学校説明会案内

第一回 学校説明会

日 時：令和3年8月5日（木）午前9時30分から12時

場 所：滋賀県立河瀬高等学校

内 容：本校の特色の説明、教育課程や行事等の説明、授業体験、施設・設備等の案内

第二回 学校説明会

日 時：令和3年9月25日（土）午前9時30分から12時

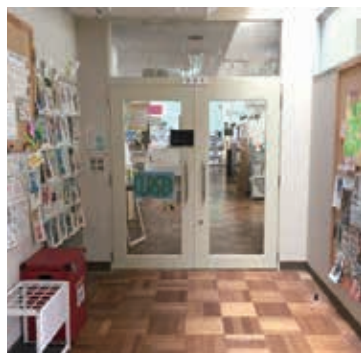
場 所：滋賀県立河瀬高等学校

内 容：本校の特色の説明、教育課程や行事等の説明、授業体験、施設・設備等の案内

※諸般の事情により変更することもありますので、詳細については本校ホームページなどでご確認ください。



新改装図書館



図書館入り口



本校の制服



改装されたトイレ



滋賀県立河瀬高等学校

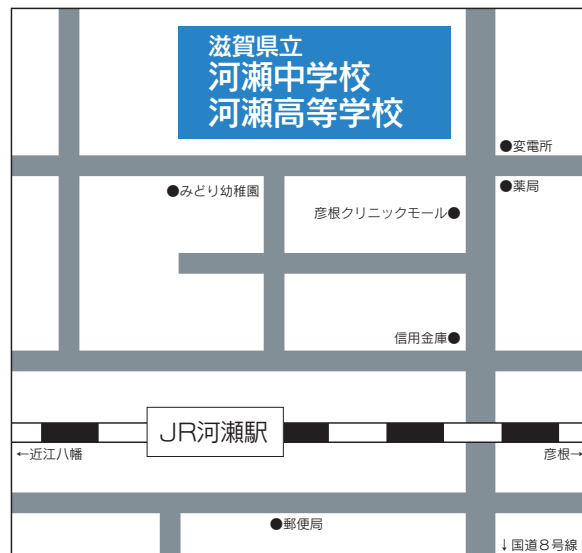
〒522-0223 滋賀県彦根市川瀬馬場町 975

TEL：0749-25-2200

FAX：0749-28-2935

URL：<http://www.kawase-h.shiga-ec.ed.jp/>

河瀬駅から徒歩7分



このパンフレットは再生紙を使用しています。